

メルコグループ

Business Report

2020.4.1 — 2020.9.30



Wi-Fi6



SSD



AMD社製CPU[RYZEN]



Airdog

永続的な成長と いかなる外的環境の変化にも耐えうる 強固な事業ポートフォリオ構築を推進

株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長

牧 寛之



コロナ禍において 需要に応えるべく、安定した商品供給に注力

当第2四半期連結累計期間における日本及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う経済活動の停止などの影響により、雇用環境の悪化、個人消費の下振れなど極めて厳しい状況が継続しました。こうした状況下で、IT関連事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全社的なテレワークの実施、オフィス内での分散勤務、遠隔会議システムの利用などを継続し、安定した商品供給と主力商品の積極的な販売活動に努めました。食品事業においても、感染防止対策を徹底の上、需要増加に対する商品の供給や原材料・資材の確保に尽力しました。また、コロナ禍で高まった消費者の健康意識に対応した商品や家庭用市場において特に急拡大している生ラーメン・焼きそばなどの販売拡大に努めました。

お客様の社会生活の変化を グループ丸となって支えていく

IT関連事業ではテレワークの需要拡大、GIGAスクール構想によるWi-Fi*関連商品の導入促進により一時的に数量こそ拡大したものの、競争激化による大幅な価格下落や前年の消費増税駆け込み需要の剥落もあり、個人向け法人向けともに非常に厳しい収益環境となりました。一方、当グループ会社が日本総代理店を担っている高性能空気清浄機やAMD社製CPUの好調な販売が大きく利益貢献しました。食品事業では、外出自粛に伴う家庭内食機会の増加等で家庭用市場は拡大したものの、外食店の休業や営業自粛の影響を受け、業務用市場は縮小しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高623億7百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益41億1百万円(同29.3%増)、経常利益42億85百万円(同15.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益28億36百万円(同1.3%増)となりました。 *Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

メルコバリューの下 中期ビジョンを引き続き実現

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、今後も先行き不透明な状況が継続すると予測されます。こうした状況下でIT関連事業においては、2017年3月期に掲げたIoT時代の社会全体での安心ネットワークを提供する中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」を引き続き実現してまいります。食品事業においては、従来の「健康」「簡便」に、コロナ禍を機に顕在化した「高品質」「経済性」「買い置き」を加えた新たな価値「5K」を基軸に開発・販売を強化いたします。また、商品のサプライチェーンの強靱化、ロスコストの削減、サービス拠点の拡充と合理化及び事業の拡大のためのM&A、働き方の改善、システムの構築などを積極的かつ迅速に行ってまいります。引き続き、当社グループは、経営理念であるメルコバリューに基づき、永続的な成長実現のために事業を推進してまいります。

メルコバリュー

千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び、活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します。

顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします。

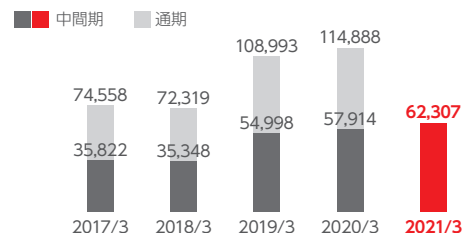
変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

一致団結

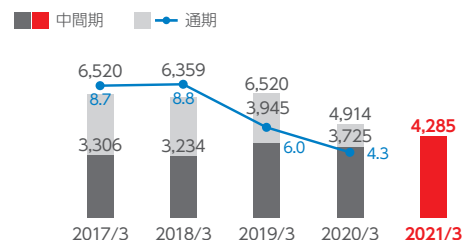
私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

連結売上高 (単位：百万円)



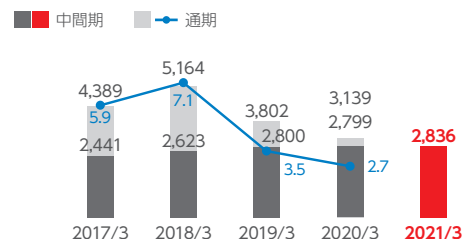
連結経常利益 (単位：百万円)

連結売上高経常利益率 (単位：%)

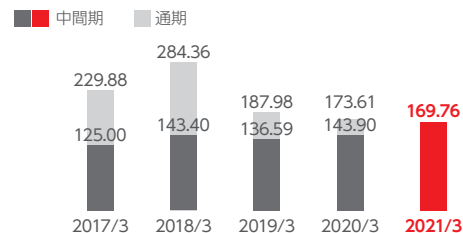


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

連結売上高当期純利益率 (単位：%)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



ITから食品、金融まで、3事業体制で お客様の生活やビジネスをサポートします

IT関連

Wi-Fiをはじめとするネットワーク製品、パソコン・テレビ録画用外付けハードディスクやネットワークによる遠隔監視・操作が可能な法人向けNASなどのストレージ製品、磁気データ消去装置「MagWiper」など、デジタル家電やパソコン周辺機器を中心にさまざまな製品を提供しています。また、高性能空気清浄機「Airdog」、ハイレゾ音源専用デジタルミュージックライブラリなど日常に豊かさを提案する製品も取り扱っています。さらに、ストレージ製品のデータ復旧サービス、リモート管理サービス「キキNavi」、賃貸集合住宅向けの「アパートWi-Fi」など、個人・法人を対象にしたサービスやソリューションも提供しております。



キキNavi

キキNavi



MagWiper



バッファロー正規
データ復旧サービス
HDDのデータ消失！
あきらめる前に
データ復旧サービス

データ復旧サービス



デジタルミュージックライブラリ



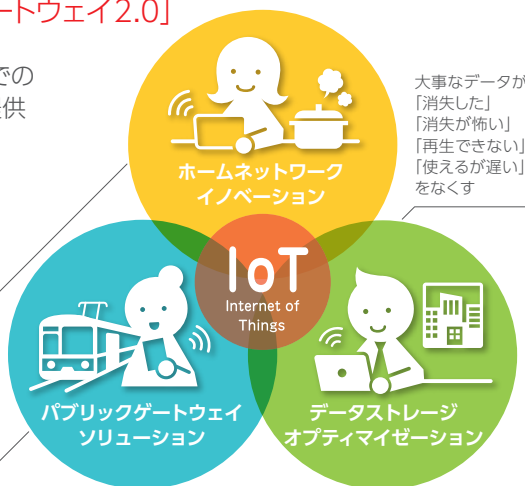
おもいでばこ

中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

モノのインターネット
IoT時代の社会全体での
安心ネットワークを提供

家庭内でWi-Fiが
「つながらない」
「つなげられない」
「つながらなくなった」
をなくす

パブリックスペースで
Wi-Fiに
「つながらない」
「つなぐのが面倒」
「つなぐのが怖い」
をなくす



新規格Wi-Fi6(11ax) 対応ルーター

テレワークへのシフトが急速に進む中、ご家庭内のWi-Fi環境を改善するニーズが高まっております。Wi-Fi6は従来規格11ac比約1.4倍の高速性能で快適なネットワークライフをお届けしております。



高性能空気清浄機 「Airdog」(エアドッグ)

当社会社のトゥーコネク트가販売している「Airdog」はウイルスの6分の1までの微細粒子を99.8%除去*、フィルターは水洗いでき買い換え不要。性能を落とさず清潔に使い続ける高性能空気清浄機として好評を得ております。



*検査機関 National Center of Quality Supervision and Testing for Air Conditioning Equipment

食品

ゆでずらい水でほぐすだけで食べられる「流水麺」や、2019年秋発売の健康価値商品「健美麺」をはじめ、うどん・そば・中華麺・焼そば・パスタなどバラエティ豊かな商品を提供しています。家庭用商品はチルド麺、冷凍麺、業務用商品は冷凍麺を中心に展開しています。素材としての麺だけではなく、魅力ある「麺料理メニュー」や新しい「麺の食べ方」など、常にお客様の視点に立った商品作りにより、麺市場の新たな可能性を創造しています。

開発基本 キーワード「5K」



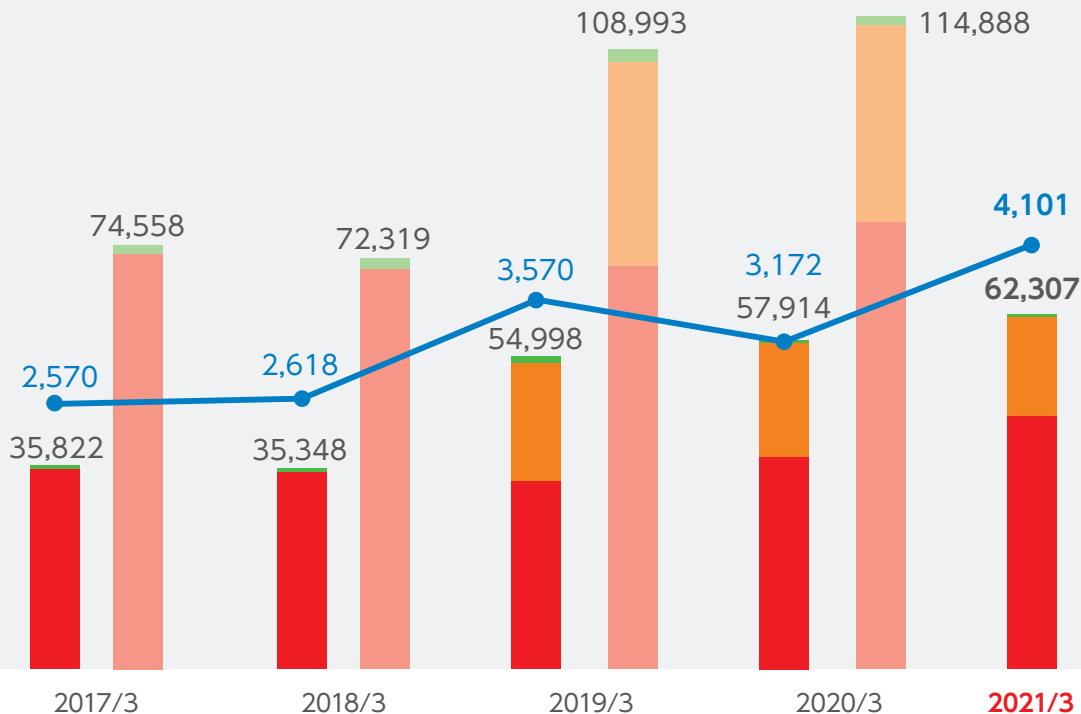
金融

投資運用業や金融商品仲介業などの事業を通じて、メルコグループの収益安定化に寄与しています。

連結売上高 (単位：百万円)

連結営業利益 (単位：百万円)

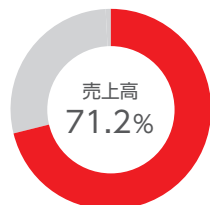
■ IT関連 ■ 食品 ■ 金融



	2017/3		2018/3		2019/3		2020/3		2021/3
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
■ IT関連	35,109	73,009	34,581	70,210	33,025	70,783	37,304	78,577	44,363
■ 食品	—	—	—	—	20,823	35,900	19,909	34,690	17,534
■ 金融	712	1,547	767	2,107	1,146	2,306	701	1,640	409

事業別連結売上高・セグメント利益

IT関連

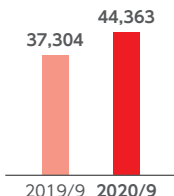


売上高

44,363百万円

前年
同期比 **18.9%増** ↑

(単位:百万円)

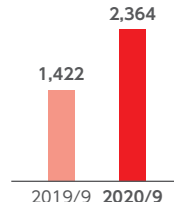


セグメント利益

2,364百万円

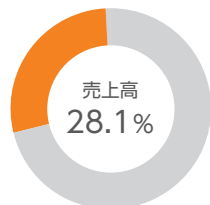
前年
同期比 **66.2%増** ↑

(単位:百万円)



個人向け市場はコロナ禍によるテレワーク・巣ごもり娯楽・遠隔学習の需要拡大、また法人向け市場においては文部科学省GIGAスクール構想による小中学校へのWi-Fi関連商品の導入促進により一時的に数量こそ拡大したものの、競争激化による大幅な価格下落や前年の消費増税駆け込み需要の剥落もあり、個人向け法人向けともに非常に厳しい収益環境となりました。特に賃貸集合住宅向けWi-Fiインターネットサービス「アパートWi-Fi」は対面による営業活動自粛の継続により累計導入戸数は9万6千戸に留まりました。また、海外市場においてはコロナ禍により短期的な市場回復が見込めないため欧州地域からの全面的な事業撤退を進めております。一方、当グループ会社が日本総代理店を担っている高性能空気清浄機「Airdog」やAMD社 (Advanced Micro Devices, Inc) 製CPUの好調な販売が大きく利益貢献し、「パッパロー正規データ復旧サービス」においても感染防止対策のためWebによる受付を活用し受付件数が累計3万1千件を超えて順調に推移いたしました。その結果、売上高443億63百万円(前年同期比18.9%増)、セグメント利益23億64百万円(同66.2%増)となりました。

食品

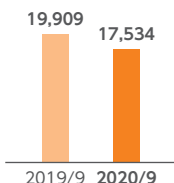


売上高

17,534百万円

前年
同期比 **11.9%減** ↓

(単位:百万円)

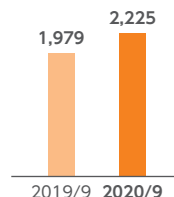


セグメント利益

2,225百万円

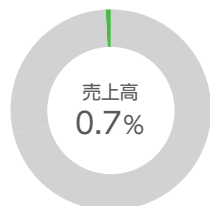
前年
同期比 **12.4%増** ↑

(単位:百万円)



販売面では、家庭用は家庭内食機会の増加により3食入り商品や「もみ打ち」生冷し中華・「鉄板麺」などのブランド商品、健康価値を包括したブランド「健美麺」が拡大しましたが、主力商品である「流水麺」の縮小や不採算商品の見直しにより売上は減少しました。業務用も大手外食店への新規採用などにより「健美麺」は拡大しましたが、外食自粛や外食店の休業、営業時間の短縮などの影響を受け売上は減少となりました。利益面では、広告販促費をはじめとするあらゆる経費の削減や生産工場での効率化・ロス削減を徹底し、利益の確保に努めました。その結果、売上高175億34百万円(前年同期比11.9%減)、セグメント利益22億25百万円(同12.4%増)となりました。

金融

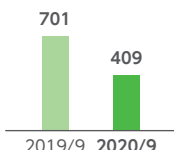


売上高

409百万円

前年
同期比 **41.6%減** ↓

(単位:百万円)

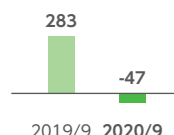


セグメント利益

△47百万円

前年同四半期
セグメント利益 **283**百万円

(単位:百万円)



難しい運用環境が続き、売上高4億9百万円(前年同期比41.6%減)、セグメント損失47百万円(前年同四半期セグメント利益2億83百万円)となりました。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 2020年 9月30日現在	前期 2020年 3月31日現在
① 資産の部		
流動資産	63,684	60,697
固定資産	18,546	18,173
有形固定資産	12,146	12,452
無形固定資産	1,057	981
投資その他の資産	5,342	4,738
資産合計	82,231	78,870
② 負債の部		
流動負債	26,428	25,408
固定負債	4,732	5,201
負債合計	31,160	30,609
③ 純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,404	4,404
利益剰余金	61,830	59,495
自己株式	△16,193	△16,192
株主資本合計	51,041	48,706
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	511	55
繰延ヘッジ損益	△4	10
為替換算調整勘定	△224	△239
退職給付に係る調整累計額	△273	△291
その他の包括利益累計額合計	9	△465
新株予約権	19	19
純資産合計	51,070	48,260
負債純資産合計	82,231	78,870

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

① 資産の部

総資産は822億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億60百万円増加しました。流動資産は636億84百万円となり、29億87百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加147億6百万円、商品及び製品の増加17億47百万円、有価証券の減少139億13百万円によるものです。固定資産は185億46百万円となり、3億73百万円増加しました。これは主に、投資有価証券の増加6億15百万円、有形固定資産の減少3億6百万円によるものです。

② 負債の部

負債合計は311億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億51百万円増加しました。流動負債は264億28百万円となり、10億20百万円増加しました。これは主に、未払法人税等の増加8億79百万円、支払手形及び買掛金の増加5億11百万円、未払費用の増加1億50百万円、その他の流動負債の減少5億86百万円によるものです。固定負債は47億32百万円となり、4億68百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少4億49百万円によるものです。

③ 純資産の部

純資産合計は510億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億9百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益28億36百万円の獲得、その他有価証券評価差額金の増加4億55百万円、配当金の支払額5億1百万円によるものです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	自 2020年 4月 1 日 至 2020年 9月30日	自 2019年 4月 1 日 至 2019年 9月30日
売上高	62,307	57,914
売上原価	46,280	42,974
販売費及び一般管理費	11,926	11,768
営業利益	4,101	3,172
営業外収益	212	606
営業外費用	27	52
経常利益	4,285	3,725
特別利益	—	191
特別損失	59	13
税金等調整前四半期純利益	4,226	3,903
法人税、住民税及び事業税	1,546	1,177
法人税等調整額	△156	△73
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,836	2,799

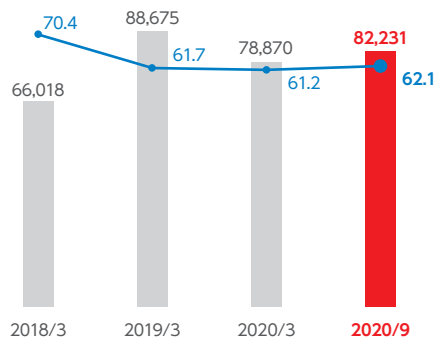
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	自 2020年 4月 1 日 至 2020年 9月30日	自 2019年 4月 1 日 至 2019年 9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,748	3,376
投資活動による キャッシュ・フロー	12,916	11,478
財務活動による キャッシュ・フロー	△950	△12,918
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△7	△17
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	14,706	1,919
現金及び現金同等物の 期首残高	10,444	7,117
現金及び現金同等物の 四半期末残高	25,151	9,036

総資産 (単位：百万円)

自己資本比率 (単位：%)



(注1). 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2). (ご参考) 2018/3期に記載の金額は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更を遡及して適用した金額を表示しております。

詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

melco-hd.jp/ir/top

国内

株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.	役員	代表取締役社長	牧 寛之	常勤監査役	續木 政直
設立	1986年(昭和61年)7月1日	取締役副社長	取締役副社長	松尾 民男	常勤監査役	井上 武彦
資本金	10億円	取締役	取締役	木下 紀夫	監査役	植田 和男
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、 経営指導を通じて統括管理を行う	取締役	取締役	津坂 巖	監査役	柴垣 信二
従業員数	29名、メルコグループ連結1,854名	取締役	取締役	中村 規脩	監査役	北村 雅史
グループ企業	会社数22社(国内17社、海外5社)	取締役	取締役	福原 賢一		
		取締役	取締役	平田 一郎		

株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.	役員	代表取締役社長	牧 寛之	取締役	横井 一紀
創業	1975年(昭和50年)5月1日	常務取締役	常務取締役	渡邊 泰治	取締役	西脇 孝志
設立	1978年(昭和53年)8月5日	常務取締役	常務取締役	和田 学	取締役	岩崎 克己
資本金	3億20百万円	取締役	取締役	吉崎 良助	取締役	稲葉 里始
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売 及びデータ復旧サービス	取締役	取締役	石丸 正弥	取締役	中村 新
従業員数	580名	取締役	取締役	矢野 学	監査役	續木 政直
		取締役	取締役	牧 大介		

シマダヤ株式会社

商号	シマダヤ株式会社 (英文社名) Shimadaya Corporation	役員	代表取締役社長	木下 紀夫	取締役	杉山 龍太
創業	1931年(昭和6年)7月20日	専務取締役	専務取締役	相馬 紳一郎	取締役	松尾 民男
設立	1949年(昭和24年)3月4日	常務取締役	常務取締役	小原 伸之	監査役	新井 満
資本金	10億円	常務取締役	常務取締役	岩田 功	監査役	加藤 優
事業内容	麺類及び関連食料品の製造及び販売	常務取締役	常務取締役	岡田 賢二		
従業員数	328名					

シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

株式会社バイ奥斯

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

メルコシンクレッツ株式会社

音響機器及び関連製品の開発・販売

株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・保守

アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

株式会社デジオン

ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発・販売

メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

海外

〈米国〉 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈欧州〉 BUFFALO EU B.V.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈台湾〉 巴比禄股份有限公司

部材の調達・管理

〈シンガポール〉 Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

(2020年9月30日現在)

株式の状況

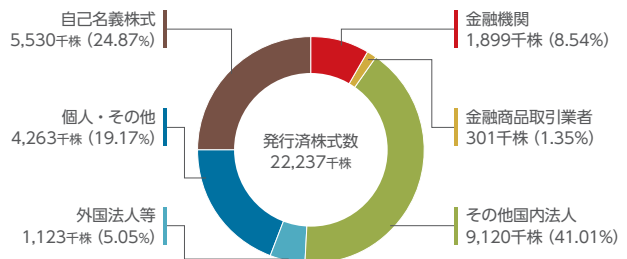
発行済株式数 22,237,873株 (自己株式5,530,145株含む)
株主数 4,999名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マキス	8,390	50.22(37.73)
牧 寛之	617	3.70(2.78)
牧 大介	617	3.70(2.78)
株式会社名古屋銀行	501	3.00(2.26)
公益財団法人メルコ学術振興財団	500	2.99(2.25)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	446	2.67(2.01)
岡 秀朋	425	2.55(1.92)
牧 順	352	2.11(1.58)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	222	1.33(1.00)
牧 廣美	167	1.00(0.75)

- (注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。なお、() 内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

所有者別分布状況



- (注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 https://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

東京本社	〒100-6215 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 TEL. 03-4213-1122(代) FAX.03-4213-1123
名古屋本社	〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



<https://melco-hd.jp>

株式会社パッファロー

製品やサービスの情報や活用事例及びサポート情報を提供しております。



<https://www.buffalo.jp>

シマダヤ株式会社

お奨めレシピや商品に関するさまざまな情報を紹介しております。



<https://www.shimadaya.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。